

科目名		地域・公衆衛生看護学特論Ⅰ		分野・必選別・ 単位数		専門科目 (地域・公衆衛生看護学)		選択必修		2単位					
担当教員		◎教授 山崎恭子													
課程		博士後期		配当年次		1年		配当学期		前期		授業方法		講義	
授業の概要		地域・公衆衛生看護学領域における基本的な概念、諸理論、モデルについて理解する。さらに、それらを活用して看護事象を分析・評価することで、問題を解決するための看護実践能力を養うとともに、看護研究能力を高める。													
授業の到達目標		①地域・公衆衛生看護学領域の基本概念であるプライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、コミュニティエンパワメントを活用し、実践に活かすことができる。 ②個人・家族のアセスメントに関する理論・モデルを用いて実践に活用できる。 ③地域・集団への介入・援助方法に関する理論・モデルについて実践に活用できる。													
授業計画	回数	担当者				行動目標									
	1	山崎 恭子		教 授		科目概説 科目概要を概説できる。									
	2	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域の基本概念について説明できる。									
	3	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域の基本概念について考察し説明できる。									
	4	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域の諸理論について説明できる。									
	5	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域の諸理論について考察し説明できる。									
	6	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域のモデルについて考察し説明できる。									
	7	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域のモデルについて考察し説明できる。									
	8	山崎 恭子		教 授		地域・公衆衛生看護学領域の基本概念・諸理論・モデルについて、事例をあげて考察し説明できる。									
	9	山崎 恭子		教 授		看護事象を諸理論・モデルなどに適合できる。									
	10	山崎 恭子		教 授		諸理論・モデルなどに適合させた看護事象を分析できる。									
	11	山崎 恭子		教 授		諸理論・モデルなどに適合させ分析した看護事象を評価できる。									
	12	山崎 恭子		教 授		諸理論・モデルなどに適合させ分析した看護事象を評価し問題を明確化できる。									
	13	山崎 恭子		教 授		諸理論・モデルなどに適合させ分析した看護事象について明確化された問題解決のための看護実践を検討できる。									
	14	山崎 恭子		教 授		諸理論・モデルなどに適合させ分析した看護事象について明確化された問題解決のために検討した看護実践を考察し説明できる。									
	15	山崎 恭子		教 授		講義の振り返りと習熟度確認									
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		【事前学修】		指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回次の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。											
		【事後学修】		授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。											
		【必要時間】		当該期間に30時間以上の予復習が必要。											
教科書		講義の中で適宜紹介する。													
参考書		講義の中で適宜紹介する。													
成績評価の方法および基準		口頭発表50%、課題レポート50%で評価する。欠席1回ごとに5点減点する。													
その他履修上の注意事項		試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。													